

## 京 都 大 学

十 周 年 記 念  
第 20 号

蝉、ひぐらしを詠む万葉歌と中国文学 …………… 宋 成徳 (二)

「忠快赦免譚」考 …………… 橋本 正俊 (二六)

連用形とカ(上) …………… 葛 清行 (三二)

「伊勢物語詞連歌」翻刻と紹介 …………… 小山 順子 (四七)  
竹島 一希

◇  
小特集 近世・近代文学

番外謡本所蔵の一端 …………… 中嶋 謙昌 (六四)

——連歌師猪苗代家と《兼載桜》《摺上》——

「芸術と実行」論争の発端 …………… 王 憶雲 (七六)

——明治四十一年の長谷川天溪と岩野泡鳴との論争を中心に——

郁達夫と佐藤春夫に関する小考 …………… 申 英蘭 (九六)

「アカシアの匂に就て」論 …………… 飯島 洋 (一二四)

——伊藤整における或る転回——

◇  
平成十九年度 修士論文要旨 …………… (一二七)

『羅葡日辞書』の錯誤と製作工程 …………… 岸本 恵美 (一)

本誌は一九九八年の創刊以来、若手研究者・院生の論文を中心とする研究誌として、京都大学大学院国語学国文学研究室において編集・刊行を重ねてまいりました。このたび創刊十周年を迎えるにあたり、本号を記念号として国語学・国文学に関する論文を収載し、あわせて近世・近代文学に関する小特集を行います。

今後とも本誌に一層の御指導御鞭撻を賜れば幸甚です。

平成二十一年三月



前々号(第18号) 目次

万葉集の雁と中国文学

宋 成徳

棄てられた本文

——伝二条為氏筆新古今和歌集を端緒として——

舟見 一哉

「新古今集詞連歌」翻刻と紹介

小山 順子

竹島 一希

京都大学  
中興文庫本 遠情抄(宗祇未来記并雨中吟抄)

解題と翻刻

中村 佳志

中島 真理

三原 尚子

中村 健史

平成十八年度 修士論文要旨

前号(第19号) 目次

勘物の位置

——清輔本『古今和歌集』の享受をめぐる——

舟見 一哉

伝二条為氏筆新古今和歌集切

補遺

舟見 一哉

「新古今集詞連歌」考察

——和歌句題、統歌と詞連歌——

小山 順子

「新古今集詞連歌」の本歌と付合

竹島 一希

陽明文庫蔵「近衛基熙消息」の翻刻と解題

川崎佐知子

平成十九年度

京都大学国文学会 研究発表要旨

## 投稿規定

- 一、本誌は、投稿資格を設けることなく、国語学・国文学に関する論文を広く募集します。
- 一、投稿論文は四百字詰原稿用紙にして四十枚（一万六千字）程度を一応の目安とします。
- 一、原稿の採否は査読委員会が決定いたします。
- 一、原稿の締切は毎年二度、六月・十二月の末日とします。
- 一、ワープロを使用した場合は、ソフト名（機種）・四百字詰原稿用紙に換算した原稿枚数を明示の上、フロッピーディスクと印字した原稿を同封してお送りください。フロッピーディスクと印字した原稿は返却いたしません。
- 一、四百字詰原稿用紙二枚程度の要約文を添付してください。
- 一、論文掲載の場合は本誌三部を贈呈いたします。それ以上の本誌・抜刷については実費を申し受けます。
- 一、宛先は以下の通りとします。  
千六〇六一八五〇一 京都市左京区吉田本町  
京都大学大学院文学研究科国語学国文学研究室内「國文學論叢」編集部

平成二十二年二月二十八日 印刷  
平成二十二年二月二十八日 発行

京都大学國文學論叢 第二〇号

編集発行者

京都大学大学院文学研究科

国語学国文学研究室内

「國文學論叢」編集部

千六〇六一八五〇一

京都市左京区吉田本町

電話 〇七五―七五三―二八二四

印刷者

京都市南区吉祥院池ノ内町10

明文舎印刷株式会社

表紙題字『易林本節用集』より

（京都大学文学部蔵慶長板）